

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月25日

鹿児島県知事 三反園 訓 殿

提出者

住 所 鹿児島県曾於郡大崎町野方 3887

氏 名 ㈱ジェーエフチキン

代表取締役社長 大久保 隆

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 099-478-2211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 ジェーエフチキン
事業場の所在地	鹿児島県曾於郡大崎町野方 3887
計画期間	令和2年4月～令和3年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：畜産食料品製造業 小分類：肉製品製造業
② 事業の規模	年間出荷額 2,309 百万円
③ 従業員数	36 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙① 参照

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙②、③ 参照		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（ 30年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表
	排 出 量	別添 内訳表
	(これまでに実施した取組) 飼料への分解酵素を添加し、鶏糞量を削減 鶏糞の攪拌による減量化 生産性向上による死鳥の削減	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表
	排 出 量	別添 内訳表
	(今後実施する予定の取組) 飼料への分解酵素の添加（種類を変えて試験を行う） 鶏糞の水分含有量の調査 生産性向上による死鳥の削減	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鶏糞：肥料化 専用施設に保管 死鳥：肥料化 専用施設に保管 廃プラ：専用倉庫で保管後、外部委託処理	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状取り組みを継続	

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(これまでに実施した取組) 鶏糞及び家畜死体の肥料化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組) 鶏糞及び家畜死体の肥料化		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添 内訳表	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添 内訳表	
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添 内訳表	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添 内訳表	
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 実績として埋立、海洋投入処分は行っておりません。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 今後行う予定はありません。	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（   元年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表
	全処理委託量	別添 内訳表
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 内訳表
	再生利用業者への処理委託量	別添 内訳表
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 内訳表
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 内訳表
	(これまでに実施した取組) 鶏糞及び死鳥の肥料化 廃プラ：焼却処理を委託している。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳表	
	全処理委託量	別添 内訳表	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 内訳表	t
	(今後実施する予定の取組) これまでの取り組みの継続		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください  
 (お願い:2種類までは計画書に記載することができですが、集計が便利になりますのでなるべくこの表に記載してください)

別添内訳書

廃棄物の種類		鶏糞	家畜の死体	廃プラ					数字(t)	合計
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状(元年度実績)	排出量	10,536	579	15					11,130	
②計画(2年度計画)	排出量	12,324	642	22					12,988	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状(元年度実績)	自ら再生利用を行った量	10,536	579						11,115	
②計画(2年度計画)	自ら再生利用を行う量	12,324	642						12,966	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状(元年度実績)	自ら熱回収を行った量								0	
	自ら中間処理により減量する量								0	
②計画(元年度計画)	自ら熱回収を行った量								0	
	自ら中間処理により減量する量								0	
自ら行う産業廃棄物の埋立処分										
①現状(元年度実績)	自ら埋立処分を行った量								0	
②計画(2年度計画)	自ら埋立処分を行う量								0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
①現状(元年度実績)	全処理委託量			15					15	
	(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量								0	
	(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量								0	
	(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量								0	
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量			15					15	
②計画(2年度計画)	全処理委託量			22					22	
	(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量								0	
	(内訳)再生利用業者へ委託する量								0	
	(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量								0	
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量			22					22	